

授業改善プラン

地域名	東葛飾教育事務所	学校名	野田市立岩木小学校
-----	----------	-----	-----------

1. 課題 (これまでの全国学力・学習状況調査結果等から)

○令和2年度の全国学力・学習状況調査問題を校内で実施し、分析を行った結果、条件に合わせて考えを記述する設問の正答率が全設問の中で最も低い23%であった。目的や意図に応じて簡潔に書いたり詳しく書いたりすることに課題が見られた。

2. 取組のポイント (仮説、改善方法等)

- 「情報の扱い方に関する事項」に着目した、書く前の指導を工夫する。
- 目的を明確にした書く場を設け、表現する楽しさを実感できる学習指導をすすめる。

3. 具体的な実践

- 全国学力・学習状況調査の仮採点と分析
- 書く力を高めるために、「情報の扱い方」に着目した授業展開【研究状況報告書参考】
- 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを基盤とした学習指導と「まとめあげる」過程における振り返りの記述指導

4. 成果

- 全国学力・学習状況調査の仮採点を行ったことにより、課題が明確になり、早期から指導に生かすことができた。
- 全学年で共通理解を図ることができ、「情報の扱い方に関する事項」の系統を意識した指導ができた。
- どの学習においても振り返りを書かせることにより、書く機会が増え、児童の書く量も増えている。

◆担当指導主事から (東葛飾教育事務所 指導主事 木村 尚史)

- 国語科の研究を開始するにあたり、昨年度の全国学力・学習状況調査問題に取り組みせたり、今年度の調査実施後に校内で仮採点を行ったりすることで、実態把握を丁寧に行った。「条件に応じて書く能力」と「情報の扱い方に関する知識・技能」に課題があることを踏まえ、「相手や目的」を意識した言語活動に取り組みせたり、自分の学びを振り返ることができる合言葉(「いわき」)を設定したりする等、随所に効果的な工夫が見られた。